

# 大阪府市場だより



第387号 令和6年5月31日  
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）  
 連絡先 TEL:(072)636-3698、FAX:3699、メール:office@fu-ichiba.jp  
 U R L https://fu-ichiba.jp



絵:「タケノコ」

## 常駐代表者会議

標記会議(川邊浩一議長が、5月16日の朝7時48分より管理棟4階大会議室で開催されました。議事概要は次のとおりです。

### ■場内火災発生のお詫び

5月10日(金)の場内火災出火場所を使用している**北果社長**から、**お詫びと再発防止を徹底する旨の表明**があった(本件火災に係る議事概要はP3参照)。

### ■府からの報告

□場内で発生した火災 (P3参照)

□再整備継続検討体制

方向性に係る意見交換や課題整理に向けた検討体制を協会に整備するよう提案

□取扱高等

(6年4月速報値)

市場全体の取扱高は金額↑  
 ス↑で前年度比約4.5億円、6.3%増加。直接集荷は金額↑  
 で同約1.5億円、13.3%減少  
 (5年度確定値)

市場全体の取扱高は金額↑  
 ス↑で前年度比約8.2億円、0.9%増加。直接集荷は金額↑  
 で同約5.3億円、4.0%増加

□憲法記念日知事表彰

青果組合※**半田常務理事**が**知事表彰**を受賞された。  
 (P2)※5/27付で専務理事

□大阪府特別高圧電力契約者等支援金【第3期】

6年1～3月分の申請手続が5/13(月)～6/14(金)、対象事業者には連絡済。府市場独自減額分は1～3月分を5月請求分で減額。大阪市の本場支援は6年4月分まで実施、5月分からは実施予定なしとのこと、府の支援は3月まで。

■食品衛生検査所からの報告

□重点監視指導事業等

食品の製造・加工を行う施設を対象にHACCP

に沿った衛生の確認を行う(5/23(木)～10/22(火)。府健康部新採職員場内見学が5/20(月)、ふく試験事前申込が6/3(月)～6/28(金)に開催

□常駐代表者から

○議長:食の安心・安全は重要。各々、衛検の**監視指導への協力**をされたい。

Q・監視指導対象57施設の抽出方向は?他施設は対象外か?

A・加工など食品に直接触れる事業所を優先。57施設以外も対象

■管理からの報告

□活性化事業

○ハード事業  
 ・水産せり場5～6番柱床面改修工事、災害用マンホールトイレ設置「見積依頼中」  
 ・災害用マンホールトイレは下水被災時に2～3日は汚物貯留が可能な規模。下水本管に近い管理棟ウラに3基を設置予定

○ソフト事業

・京阪百貨店守口店「SDGs食育フェスタ」(5/26日)※協力:JA全農とつり大阪事務所、和歌山県農業協同組合連合会、(株)林田商店、北果、追手門学院大学、梅花女子大学



清祓・魚供養・青果供養

5月9日(木)、昨年度に引き続き、「清祓・魚供養・青果供養」の神事が行われました。

今年度は、水産せり場・青果せり場それぞれで供養とお祓いを行い、茨木神社社主様のご祈祷のもと、常駐代表者等が祭壇に玉串を奉奠し、列席の場内関係者とともに、魚介や野菜、果実に対して祈りを捧げました。



食品衛生自主管理点検記録表

食品衛生部会活動として、今年も、衛検の協力のもと「食品衛生自主管理点検記録表」を作成し全仲卸店舗に配りました。

皆様の衛生管理計画を検証し、該当しない項目は「該当なし」を選択していただくよう改正しました。HACCPの定着にご協力をお願いします。

「バイバイ」食中毒！  
まずは「イマドキの食中毒」をよく知ろう

初夏の陽気となりました。夏に細菌性食中毒、冬にウイルス性食中毒が流行するというのが定説でしたが、数年前からアニサキス食中毒の発生が年間を通して増加、春から初夏にかけてノロウイルス食中毒が多発、秋にも大規模な細菌性食中毒が発生するなど、今までとは異なる状況が見られます。

とは言っても、これからは細菌が繁殖しやすい季節。食中毒のトレンドを知って、予防策を講じましょう。

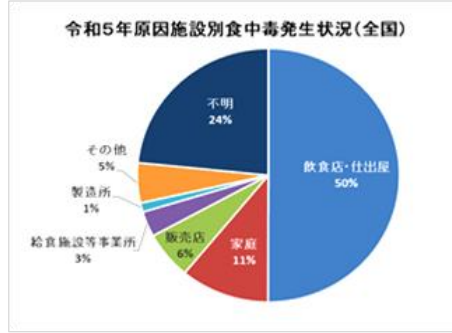
1月別食中毒発生状況



新型コロナウイルス感染症が5類になり、集団で食を行う機会が増えたのも一因かと思われれます。

原因施設別食中毒発生状況

最も多いのは飲食店と仕出屋で、全体の半数を占めています。



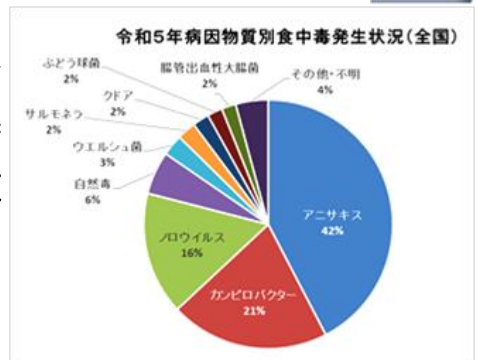
病因物質別食中毒発生状況

近年は、上位をアニサキス、カンピロバクター、ノロウイルスが占めています。

カンピロバクターは鶏肉や牛の内臓からよく検出されますが、令和5年には湧き水を使った流しそうめんで大規模なカンピロバクター食中毒が発生しました。鶏や牛などの動物の腸にはカンピロバクターなどが常在菌として生息しており、菌が混ざった糞によって湧き水や井戸水、川の水が汚染され、食中毒の原因になることもあります。

食中毒を防ごう！

食中毒予防の三原則「つけない」「増やさない」「やっつける」を踏まえ、病因物質トップ3の対策を見ましましょう。



①アニサキス

サバやカツオなど魚介類に寄生するアニサキスは、魚の鮮度が低下すると腸から筋肉へ移動します。鮮度の落ちないうちに内臓を除去し、流通時は低温保管を徹底しましょう。また、マイナス20℃で24時間以上の冷凍で死滅させることや、目視で取り除くことも可能です。

②カンピロバクター

空気が嫌いという特徴を持っており、外気にさらされると時間が経つにつれ死滅します。逆に、外気に触れる時間が短い新鮮な鶏肉や牛の内臓には、この菌

③ノロウイルス

ヒトの腸内でのみ増殖するウイルスで、感染すると1か月ほどウイルスの排出が続きます。日頃から自分の健康状態に留意し、作業前や作業内容が変わる際、特にトイレの後は念入りに手を洗うようにしましょう。

\*表及びグラフは厚生労働省食中毒統計資料を基に作成したものです。

市場取扱高

《4月・単月》

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果計	野菜	10,786,559	96.0	2,988,451	104.8
	果実	3,594,477	98.1	1,728,176	110.0
	小計	14,381,036	96.5	4,716,627	106.6
水産物計	生鮮水産物	1,266,778	100.4	1,355,483	104.9
	冷凍水産物	169,809	95.4	251,594	101.6
	加工水産物	686,769	100.2	975,837	104.9
	冷凍食品	353,067	118.0	212,343	122.3
	小計	2,476,423	102.1	2,795,257	105.7
総計		16,857,459	97.3	7,511,884	106.3



場内火災 5・10 12:45

常駐代表者会議では、5月10日の火災に対する厳しい指摘が相次ぎました。

議長

各業者とも自分事と捉え再発防止を徹底されたい。

府次長

人的被害はなかったが、現場事務所が全焼。府と管理で、北果社員に直接注意喚起をした。

管理主査

仲卸店舗内・事務所も含めた禁煙、違反に対する罰則強化、禁煙指導員の活動のあり方も検討する。

管理専務

消防・警察はタバコの不始末であろうとの見立て。「禁煙対策を強力に進めよ。対策内容を報告せよ」との指示を受けた。炭木消防

査察の立入検査を受けることも想定される。他の卸業者所有の現場事務所も、消防から「未届けた。直ちに届け出よ」と指摘を受けた。速やかに対応されたい。センターも協力する。場内で喫煙が認められているのは屋外9か所と青果・水産4卸事務所内4ヶ所のみ。仲卸店舗を含め、他は全て禁煙。改めて確認されたい。今後の禁煙対策は追って通知するが、喫煙ルール遵守の徹底を強く要請する。

安全部会長

日頃から防火の啓発に努め、関係者一人ひとりの意識づけなど各社・組合が再発防止を徹底されたい。

場長

重大に受け止めている。発見が遅れておれば市場としての公的使命を果たせない。何よりも、人命に関われば取り返しがつかない。タバコの不始末が原因だとすれば、たった一つの不始末を取り返しのつかない結果を招くことを肝に銘じられたい。再発防止に向け、事業者責任が厳しく問われることを認識されたい。今後、場内に対し、しっかりとメッセージを発信していく。



\*\*\*\*\*  
大阪ガスファシリティーズ  
に感謝状贈呈

5月10日(金)に発生した火災において、OGFA(電気室)のスタッフにより迅速、的確な初期消火活動がなされ、被害を最小限に抑えることができ、消防から高く

評価されました。

この初期消火活動に対し、5月27日(月)、管理センター橋爪社長から感謝状と副賞が贈呈されました。



(株)大阪ガスファシリティーズ 事業所責任者 谷口氏

再整備検討体制

常駐代表者会議では、再整備検討体制を主題に約40分、議論がされました。

「再整備を前提に方法を検討すべき」、「場内事業者の理解が重要。再整備ありきではない」、「使用料負担を踏まえ適正規模や余剰地活用の検討が重要」、「低温化が最も喫緊の課題」など様々な意見が示された上で、実効性ある体制下で検討を急ぐべきという点で一致し、青果・水産各々で体制をつくり、検討を進めることとされました。府からも、開設者責任を果たすべくオプザバーとして参画するとの意向が示されました。

大西場長から

今後3年間の検討体制をどう構築するかが本日の主



組合総会の開催

■青果卸売協同組合

5月27日、青果卸売協同組合(西田景典理事長)の通常総会が青果組合会議室で開催され、令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画及び収支予算、役員選任等が承認されました。

題。青果・水産それぞれで検討を進めてくださることは非常にありがたい。

府転入職員・早朝セリ視察

4月23日(火)大西場長や6年度転入者など11名が早朝に場内視察をしました。大西場長は「多種多様な生鮮食料品が取引される様子を体感し、改めて市場が果たす役割の重要性を認識した」と感想を述べられました。

府健康医療部新採職員場内研修  
また、5月20日月には大阪府健康医療部の新採職員が衛検訪問等の研修に市場を訪れました。



出店場所：管理棟前駐車場 6月

キッチンカースケジュール

諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

**A** 10:00~16:00  
Rabbit's Crepe  
クレープ



**B** 11:00~16:00  
kitchencar チッチ  
ホットサンド



**C** 9:00~16:00  
太陽の輪  
カレー



**D** 11:00~14:00  
KENTOKU KITCHEN  
ハンバーガー



大阪府中央卸売市場管理センター



・オール梅花ルビーフェスタ  
in吹田エキスポシティ「6/1  
王」、6/2「巨」V中学・高校・大  
学の合同オープンキャンパス  
※協力：飛騨蔬菜出荷組合、  
JAひだ、全農岐阜、北果

・梅花女子大学心理こども  
学部こども教育学科Vさつ  
まいも定植「5/24金」※協力：JA  
大津松茂、徳島県関西本部、北果  
○市場見学・視察  
・梅花女子大学食文化学部  
管理栄養学科「5/27月」、追手  
門学院大学経営学部村上ゼミ  
「6/18火」  
○維持補修事業  
・6年度「4/1〜5/15」25件、561  
万円(税抜)  
○ゴミ関連  
○不法投棄  
・件数「4月、3件」V対策開  
始前 비해 97.7%減少V持込  
投棄・不法投棄には入場禁  
止等の行政処分、警察への  
通報。本来、各事業所の負担  
で場外に排出するべきもの  
○青果くず排出状況「1」は  
前年度同月比  
・4月単月実績V排出量47,59  
ト(▲99ト)、▲17.3%V処理費

用(税抜)約98万円(▲約20万  
円、▲17.3%)  
・5月実績「5/1〜5/15」V排出  
量35,65トV増加傾向  
※管理タレは1/2負担V大量投  
棄は事前に管理タレまで連絡  
を(受入れ態勢及び食品ロ  
ス削減)。5月は半月で既に  
4月の7割強。GWや盆前  
になるとパレット単位や数百  
kgなど大きい単位で排出さ  
れる傾向。排出方法そのも  
のを検討していく。排出量  
の縮減をお願い  
○木製廃棄パレット排出状  
況「1」は前年度同月比  
・4月単月実績V排出量4,590  
枚/月、219枚/日▲850枚/  
月、▲53枚/日、▲15.6%  
V処理費用(税抜)約41万円  
(▲18,125円、▲4.2%)  
・5月実績「5/1〜5/5」V排出  
量340枚(+340枚)  
※管理タレは1/3負担。V外部  
の持込禁止、利用可能なパ  
レットの再利用の徹底を。  
○一般廃棄物排出状況「1」  
は前年度同月比  
・4月単月実績V排出量139,72  
ト(▲11,37ト、▲7.5%)V処理費  
用(税抜)約114万円(▲約9万  
円、▲7.5%)  
・5月実績「5/1〜5/9」V排出  
量49,28ト(+2,18ト、+4.6%)V処  
理費用(税抜)約40万円(+約  
2万円、+4.6%)  
※茨木市の処理費用が1.5倍  
にアップ(R 54.1条例改正)

人身事故	1件 (7件)
物損事故	4件 (54件)
うち市場施設の物損※	3件 (19件)
うち車両同士の衝突	1件 (35件)
合計	5件 (61件)

( )内は昨年度の件数  
※トラック車両による市場施設の物損事故3件  
➢うち高架下冷蔵庫破損・水産ハイウェイ灯破損等1件  
➢4/18人身事故発生。買出人をターレットの荷台に乗せて  
駐車場まで送る際に荷台から転落。負傷者は救急搬送さ  
れ、身体機能の障がいが残ったと聞いている。各事業者に  
おいて注意喚起をお願いします。  
➢市場施設の物損事故は、全件、原因者に求償済。

※管理タレは4/10負担  
V負担割合の見直し  
の検討  
を考えている  
○禁煙対策「4/1〜5/7」  
○6年度実績V通告書交付  
(違反者)0件 累計385件  
「場外103件」V警告書交付  
(再違反者)0件 累計32件  
V更に累犯で入場禁止  
○「禁煙」シールの追加貼付  
○「喫煙ルールの違反行為  
に対する取扱要領」の改正  
(R 54.1施行)V悪質な違反行  
為※)に対する罰則の強化等  
(※)常習違反、吸殻のポイ捨  
て、注意指導に従わないなど  
V5/10火災の件はP3参照。  
○交通安全対策  
○場内交通事故の多発(4月)

■協会からの報告  
○部会からの報告  
・西田安全部会長から、6/7  
(金)の場内一斉大掃除、6月  
各水曜日「フオークリフト  
講習会」の報告、火災及びタ  
ーレット転落事故に関する  
注意喚起があった。転落事  
故は、危ない運転をしてい  
なくとも起こり得る事故で  
あることを理解し再発防止  
に努めるよう求めた。  
・榎本食品衛生部会長か  
ら、「コブブリ・ネズミ」の一斉

○鳥獣対策  
○カラス対策  
・捕獲数「4/1〜5/15」178羽V捕  
獲力「コブブリ」小による捕獲  
○ネズミ捕獲数「4/1〜5/15」24  
匹V出没区域を重点に捕獲  
力V設置  
○取締役会・株主総会  
○決算取締役会「5/27月」800〜  
830。第14回定時株主総会  
(6/25火) 8:30〜9:00※開始前、  
協会理事会。終了後、北冷株  
主総会。  
○その他  
○魚あらの持ち出し  
V4月中旬から5/10にかけて  
魚あらし置場からまくろとち  
りめんを複数回、持ち出し  
た事案が判明。即日、呼び出  
して口頭注意。5/13、府同席  
のもと社内調査結果をヒア  
リング。説明不透明につき、  
後日、改めて調査。当該者  
(社)に対する処分を検討中。



半田啓介氏(大阪府青果  
卸売協同組合専務理事・榎  
山哲代表取締役が産業功  
労(農林水産関係)の功績に  
より、憲法記念日知事表彰  
を受賞され、5月13日(月)、  
場長室で大西場長から表彰  
状が贈呈されました。誠に、  
おめでとございます。

■再整備に係る検討体制  
(P3参照)  
■場長から  
(P3参照)  
半田専務・知事表彰  
駆除を6月8日(土)に行う  
こと、食中毒予防のための  
検便を6月に行うこと、以  
上の報告があり、各社・組合  
の協力を求めた。  
○理事会議案の事前説明  
25開催理事会提出議案の  
説明が事務局からあった。  
○カレンダーの挿絵(案)  
7年カレンダーの挿絵案  
が示され、6月の常駐代表  
者会議で決定し11月に配  
付予定との報告があった。